

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月31日

上場会社名 株式会社サンリツ 上場取引所 東
 コード番号 9366 URL <https://www.srt.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三浦 康英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 光晴 TEL 03-3471-0011
 四半期報告書提出予定日 2020年9月7日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,491	△11.6	57	△63.0	43	△66.9	37	△54.4
2020年3月期第1四半期	3,950	△5.3	156	△16.6	132	△18.8	82	△28.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 65百万円 (△25.7%) 2020年3月期第1四半期 87百万円 (4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	6.77	6.64
2020年3月期第1四半期	14.83	14.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	20,206	8,399	40.9	1,480.06
2020年3月期	18,947	8,334	43.2	1,467.46

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 8,261百万円 2020年3月期 8,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。今後、業績予想が可能となった段階で速やかに開示いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、現時点で適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定といたします。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	6,006,373株	2020年3月期	6,006,373株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	424,347株	2020年3月期	424,347株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	5,582,026株	2020年3月期1Q	5,582,121株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界の経済状況は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により各国で経済活動が制限され、大幅に落ち込みました。経済活動再開の動きが一部に見られたものの、感染拡大に歯止めがかからず、極めて厳しい状況が続きました。日本の経済状況は、同感染症拡大の影響により、4月に緊急事態宣言が発令され、個人消費、企業活動が停滞し、世界経済同様に極めて厳しい状況が続きました。

物流業界におきましては、国内貨物は同感染症拡大の影響により需要が落ち込み、消費関連貨物及び生産関連貨物を中心に減少いたしました。国際貨物は中国向けなどの一部貨物において持ち直しの動きが見られたものの、同感染症拡大の影響及び米中貿易摩擦の長期化等の影響により、輸出入ともに減少いたしました。

このような事業環境の中、当グループは工作機械の取扱いが大幅に減少したことに加え、その他製品の取扱いも全般的に伸び悩み、売上高、営業利益ともに減少いたしました。

また、2019年9月に発生した台風15号及び10月に発生した台風19号の災害保険金収入として、特別利益48百万円、災害による損失として特別損失6百万円を計上しており、保有株式の時価の著しい下落により、投資有価証券評価損として特別損失16百万円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高34億91百万円（前年同期比11.6%減）、営業利益57百万円（前年同期比63.0%減）、経常利益43百万円（前年同期比66.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益37百万円（前年同期比54.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①梱包事業部門

工作機械の取扱いが大幅に減少したことに加え、その他製品の取扱いも全般的に伸び悩み、売上高、セグメント利益ともに減少いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高24億1百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益1億36百万円（前年同期比52.3%減）となりました。

②運輸事業部門

工作機械及び医療機器の取扱いが減少したことにより、売上高は減少いたしました。

セグメント利益につきましては、一部外注自動車における単価改定等の影響により、わずかに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高4億44百万円（前年同期比25.0%減）、セグメント利益15百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

③倉庫事業部門

外部倉庫における小型精密機器の取扱いが増加したことにより、売上高、セグメント利益ともに増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高5億72百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント利益1億29百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

④賃貸ビル事業部門

本社ビルの稼働率が高水準で推移したことにより、売上高は増加いたしました。

セグメント利益につきましては、定期修繕の減少により増加いたしました。

この結果、当該部門の業績は、売上高73百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益31百万円（前年同期比75.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産202億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億58百万円の増加となりました。主な内容は、以下のとおりであります。

流動資産につきましては、65億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億56百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加16億98百万円、受取手形及び売掛金の減少3億15百万円によるものであります。

固定資産につきましては、137億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ98百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産において、建物及び構築物の減少65百万円、機械装置及び運搬具の減少22百万円及びリース資産の減少62百万円、投資その他の資産において、投資有価証券の増加30百万円、繰延税金資産の増加27百万円によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、118億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億93百万円増加いたしました。

流動負債につきましては、50億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億53百万円、短期借入金の増加4億54百万円、賞与引当金の減少81百万円及び災害損失引当金の減少39百万円によるものであります。

固定負債につきましては、67億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加10億7百万円、リース債務の減少63百万円及び退職給付に係る負債の増加12百万円によるものであります。

③純資産

純資産につきましては、83億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加37百万円、その他有価証券評価差額金の増加33百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から40.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、現時点で適正かつ合理的に算定することが困難であることから未定といたします。今後、連結業績予想の合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,780,721	3,479,432
受取手形及び売掛金	3,018,723	2,703,336
原材料及び貯蔵品	145,371	153,219
その他	207,031	172,204
貸倒引当金	△4,300	△3,800
流動資産合計	5,147,547	6,504,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,688,513	7,623,132
機械装置及び運搬具(純額)	493,986	471,663
土地	2,359,837	2,359,240
リース資産(純額)	1,448,471	1,386,148
その他(純額)	39,811	38,136
有形固定資産合計	12,030,619	11,878,321
無形固定資産		
ソフトウェア	21,202	23,351
その他	689	654
無形固定資産合計	21,891	24,005
投資その他の資産		
投資有価証券	383,603	414,086
繰延税金資産	739,012	766,263
その他	632,194	626,624
貸倒引当金	△6,947	△6,947
投資その他の資産合計	1,747,862	1,800,027
固定資産合計	13,800,374	13,702,354
資産合計	18,947,922	20,206,746

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	618,540	465,242
短期借入金	2,395,184	2,849,720
リース債務	265,629	253,487
未払法人税等	121,883	98,075
賞与引当金	260,476	178,726
災害損失引当金	88,136	48,484
その他	1,029,385	1,125,411
流動負債合計	4,779,236	5,019,148
固定負債		
長期借入金	3,075,365	4,083,158
リース債務	1,172,943	1,109,097
退職給付に係る負債	874,033	886,100
資産除去債務	456,536	458,936
金利スワップ	50,989	45,124
その他	203,863	205,209
固定負債合計	5,833,730	6,787,626
負債合計	10,612,966	11,806,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,523,866	2,523,866
資本剰余金	2,441,128	2,441,128
利益剰余金	3,444,205	3,481,970
自己株式	△208,893	△208,893
株主資本合計	8,200,306	8,238,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,175	124,136
繰延ヘッジ損益	△35,376	△31,307
為替換算調整勘定	△27,835	△35,603
退職給付に係る調整累計額	△35,874	△33,574
その他の包括利益累計額合計	△8,911	23,651
新株予約権	41,247	41,247
非支配株主持分	102,312	97,001
純資産合計	8,334,955	8,399,972
負債純資産合計	18,947,922	20,206,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	3,950,362	3,491,658
売上原価	3,224,302	2,796,406
売上総利益	726,059	695,251
販売費及び一般管理費		
販売費	274,469	293,531
一般管理費	295,589	344,018
販売費及び一般管理費合計	570,058	637,549
営業利益	156,001	57,702
営業外収益		
受取利息	241	289
受取配当金	4,872	4,450
受取保険金	61	3,525
その他	1,340	5,942
営業外収益合計	6,516	14,207
営業外費用		
支払利息	25,909	23,900
その他	4,426	4,200
営業外費用合計	30,336	28,100
経常利益	132,180	43,809
特別利益		
固定資産売却益	—	1,199
投資有価証券売却益	414	—
災害保険金収入	—	48,800
特別利益合計	414	50,000
特別損失		
投資有価証券売却損	2,687	—
投資有価証券評価損	—	16,829
災害による損失	—	6,576
特別損失合計	2,687	23,405
税金等調整前四半期純利益	129,908	70,403
法人税、住民税及び事業税	91,479	79,985
法人税等調整額	△44,935	△41,819
法人税等合計	46,544	38,166
四半期純利益	83,364	32,237
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	601	△5,527
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,762	37,765

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	83,364	32,237
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,512	34,357
繰延ヘッジ損益	17,481	4,069
為替換算調整勘定	3,330	△7,767
退職給付に係る調整額	2,108	2,300
その他の包括利益合計	4,407	32,958
四半期包括利益	87,771	65,196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,774	70,328
非支配株主に係る四半期包括利益	997	△5,131

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,770,217	592,077	517,561	70,505	3,950,362	3,950,362
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	79	—	—	79	79
計	2,770,217	592,157	517,561	70,505	3,950,441	3,950,441
セグメント利益	285,770	15,505	105,312	17,748	424,336	424,336

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,336
セグメント間取引消去	84
全社費用(注)	△268,420
四半期連結損益計算書の営業利益	156,001

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	梱包事業	運輸事業	倉庫事業	賃貸ビル事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,401,314	444,127	572,995	73,221	3,491,658	3,491,658
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,323	—	—	1,323	1,323
計	2,401,314	445,451	572,995	73,221	3,492,981	3,492,981
セグメント利益	136,236	15,851	129,631	31,082	312,802	312,802

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	312,802
セグメント間取引消去	107
全社費用(注)	△255,207
四半期連結損益計算書の営業利益	57,702

(注) 全社費用は、主に当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。